NPO法人　AfriMedico

年次報告書

2015

2015年4月～2016年3月

AfriMedicoは医療を通じて、アフリカと日本をつなぎ、健康と笑顔を届けます。

私たちのmission

私たちは“Medicine for the last mile”をスローガンに、
「日本発祥"置き薬"の仕組みによってアフリカの住民へ健康と笑顔を届けること」をミッションとしています。

私たちの活動

置き薬の仕組みの導入によって、アフリカの住民に対して以下を実現していきます。

- **セルフメディケーションの促進による病気や怪我の早期回復**
- **スタッフの定期訪問による医療知識の啓蒙**

将来はその置き薬BOXに現地ニーズに見合った日本の医薬品を導入することで、

- **アフリカの住民のQuality of Lifeの向上**
- **日本製薬業界の発展**

に貢献していきたいと考えています。

タンザニアでの置き薬配布の様子

Contents

代表理事挨拶　・・・・・・・ 3

活動総括　・・・・・・・ 4

海外の活動実績　・・・・・ 5

国内の活動実績　・・・・・ 7

財務報告　・・・・・・・ 10

お知らせ　・・・・・・・ 11

本報告書の文中および図表中では企業・団体名の敬称を省略させていただきました

代表理事挨拶

ご支援を頂いております皆様へ

1年間に渡りご支援を賜り、誠にありがとうございました。この1年は、我々にとって「現地により近づけた発展の年」でした。法人設立して2年目に突入しましたが、まだまだ課題は多い中、現地に訪問し同じビジョンを持った協力者を得られたこと、住民からの「早く薬を置いてほしい」というニーズを聞くことができたことが、我々の中で一番嬉しい出来事でした。 そんな活動に繋げることが出来たのも、これを読んで頂いている皆様のおかげです。心よりお礼申し上げます。

1年を振り返ってみると毎月様々な出来事がありました。特に2015年度はREADYFOR OF THE Global CHALLENGE賞の受賞や、筑波大学茗渓会の社会貢献活動功労者としての表彰などを頂き、少しずつ評価して頂ける活動が広がってきております。まだまだ課題も多数ありますが、この1年は確実に実績を積み重ねて参りたいと思います。

しかしながら、我々だけで出来る事は限られます。この1年も様々な困難なことが起こりましたが、これを読んで頂いている皆様のご支援によって、活動を推進することができました。皆様からの支援が精神的にも支えとなり、いつも私の背中を押してくださっています。

2016年度は、置き薬システムの実績を積み上げることに重点を置きたく、引き続きご支援を賜れば幸いです。 皆様に健康と笑顔を届けられるように活動をしてまいります。 どうぞ宜しくお願い申し上げます。

NPO法人 AfriMedico
代表理事 町井恵理

町井 恵理

2015年度の活動総括

4月　5月　6月　7月　8月　9月

置き薬事業

現地協力者と事業に向けた議論開始
（実施場所/薬剤/オペレーション等）

2015年度第1回
現地訪問

外部登壇/広報

★めびうす多世代起業家交流フェスタに登壇

★名古屋AfriMedico活動報告会開催

★AfriMedico総会の開催

★QsCAFE～国際医療・保健を学ぶ場～に登壇

★AfriMedico臨時総会の開催

★グロービス経営大学院NPO研究会に登壇

★JICA進路開拓セミナー【企業編】に登壇

★第7回コモンズ社会起業家フォーラムに登壇

★JICAグローバルフェスタ2015に登壇

10月　11月　12月　1月　2月　3月

置き薬事業

事業開始に向けた手続き確認（省庁へのアプローチ、現地チーム編成）

2015年度第2回
現地訪問

事業開始に向けた最終準備
（現地オペレーションすり合わせ・医薬品の調達）

外部登壇/広報

★第2回チャリティーランin多摩川開催

★ソーシャル・リクルーティング・ツールWantedelyを通じた人材募集開始

★READYFOR OF THE YEAR Global CHALLENGE賞受賞

★第１回女性起業チャレンジ制度特別賞受賞

★第14回筑波大学茗渓会賞受賞

★青年海外協力隊発足50周年セミナーに登壇

★社外アドバイザー会議の開催

★「Women 4 Africa」第２回SU*TE*KIカフェ講演会に登壇

★転職情報サイトDODA開催ソーシャルキャリアフォーラムで人材募集

★チャリティTシャツの販売

海外での活動関連

■ 置き薬事業に向けた準備

2015年は、将来の置き薬事業の事業化に向け、まずタンザニアで購入可能な医薬品を活用して置き薬BOXを構成し、現地にあった置き薬オペレーションの構築に取り組むべく、準備を開始しました。

1.現地協力者

日本から遠く離れた現地でオペレーションを組み立てるため、AfriMedicoメンバーの人脈から、2014年に海外医薬品の登録申請作業を生業としているMr. Geofreyと出会い、現在もAfriMedicoの現地での置き薬事業開始に向けて全面的に協力してくれています。

また彼は現地の大学でもAfriMedicoの活動を宣伝してくれており、新たにタンザニアで有名なムヒンビリ大学の学生５名もこの活動に関わってくれることとなりました。

2. 医薬品

現地では小規模な薬局のことをDuka La Dawaと言います。都心には比較的多く存在していますが、アクセスが悪くなるととたんに数が少なくなります。我々は都心に位置し、豊富な在庫を有するDuka La Dawaで購入可能な医薬品を調達しました。

3. 配置場所

置き薬事業のオペレーション確認の場として、タンザニアの中心地Dar Es Salaamから車で2～3時間のアクセスであるBwama村というところを選びました。

協力者のGeofreyがBwama村の若い村長さんと懇意にしており、AfriMedicoメンバーも今年度は2回（8/12月）面会し、我々の活動について説明しました。

「村には薬がなく困っている。ぜひ設置してほしい」という言葉をいただくことができました。

海外の活動関連

4. オペレーション検証（継続実行中）

2015年度の訪問において、実施エリア近くのDuka La Dawaで売られている医薬品の価格帯を調査しました。実施エリアに行くには車/バイク等で2～3時間かかるため、往復の交通費も考慮する必要があります。

それらのデータを具体的に把握し、今後は住民の方にとってメリットになる価格や配送方法、代金収集の仕組みに取り組んでいく予定です。

また住民の方にどのような疾患が多いか、どのような薬を置き薬にいれてほしいかヒアリングを行いました。

国内の活動実績

■企業様との連携

置き薬システムをアフリカへ導入し、医療環境が整わない場所へ薬を届けるには、AfriMedicoだけの力では足りません。私たちは配置薬事業に賛同してくださる企業との連携を積極的に進めています。2015年に AfriMedicoの活動に協力いただいた企業様は下記の通りです。

□事業の連携　株式会社廣貫堂様
　　布亀株式会社様

□資金協力　久光ほっとハート倶楽部様
　　損保ジャパン日本興亜ちきゅう倶楽部様
　　公益財団法人　三菱UFJ国際財団様
　　一般社団法人　協力隊を育てる会様
　　株式会社 中京医薬品様

＊企業名は順不同です。

■活動報告会の開催、各種セミナーへの登壇

AfriMedicoの活動をより多くの方に知ってもらうため、国内でセミナーやイベントを行っています。また、NGOが参加する交流会や国際協力関連の学会にも参加し、積極的な情報発信を行っています。

国内最大級の国際協力イベント“JICAグローバルフェスタ”にて登壇

投資信託会社のコモンズ投信主催の
第7回コモンズ社会起業家フォーラムにて登壇

受賞実績

昨年に引き続き、AfriMedicoの活動に対して多方面より評価を頂くことができました。これらを励みに、置き薬事業の実現に向けて着実に進んで参ります。

READYFOR OF THE YEAR2015 Global CHALLENGE賞受賞

クラウドファンディング「READYFOR」において実施されたプロジェクトに贈られる賞で、2014年9月から2015年8月までに目標金額に達成した710プロジェクトが授賞対象の中、国際協力などを通じ、世界中で誰かを笑顔にする活動を行ったプロジェクトに贈られるGlobal CHALLENGE賞を受賞しました。

第１回女性起業チャレンジ制度特別賞受賞

社団法人”起業プロジェクト“が主催する、起業の夢を持つ女性達を支援する「第１回女性起業チャレンジ制度」において、１０９名の応募の中１６名のファイナリストの一人として選出され、「特別賞」を頂きました。

第14回筑波大学茗渓会賞受賞

筑波大学同窓会である一般社団法人“茗渓会”が、毎年すぐれた社会貢献活動を行っている個人および団体に授与する茗渓会賞を受賞しました。

メディア掲載実績

この一年は、多くのメディアにAfriMedicoの活動についての取材を頂きました。

【新聞】

•Japan Times	2015年　4月
•ハワイ報知	2015年　6月
•北陸中日	2015年　7月
•産経新聞 朝刊	2015年　9月

【雑誌等】

•中小企業診断	2015年　4月
•クロスワード	2015年　5月
•ソトコト	2015年　6月
•アフリカ協会	2015年 10月
•日経GLOBAL GATE	2015年 11月

【ラジオ】

•NHKラジオ～置き薬のモデルについて～
2015年12月

【WEBニュース】

《海外メディア》

• NextBillion.net	2015年7月21日
• CHMI	2015年8月10日

《国内メディア》

• メディケア生命保険(FBページ)	2015年6～8月
• Roots & Vision	2015年11月30日
• ファーマシストライフ	2016年1月
• 日経ビズアカデミー/NIKKEI STYLE ～MBAはこう使う！～	2016年3月4日

*ソトコトより抜粋

*日経ビズアカデミーより抜粋

*ファーマシストライフより抜粋

活動報告書・監査報告書

Ⅰ 経常収益			
1.受取会費			
賛助会員受取会費	395,000	395,000	
2.受取寄付金			
受取寄付金	1,173,450		
受取助成金	1,050,000	2,223,450	
3.その他収益			
受取利息	372	372	
		経常収益計	2,618,822
Ⅱ 経常費用			
1.事業費			
（1）その他経費			
市場調査費	224,067		
旅費交通費	871,756		
広告宣伝費	44,915		
支払手数料	1,221,383		
会議費	19,980		
その他経費計	2,382,101		
		事業費計	2,382,101
2.管理費			
（1）その他経費			
地代家賃	32,400		
情報通信費	42,722		
帳簿文具費	37,541		
雑費	62,399		
その他経費計	175,062		
		管理費計	175,062
		経常費用計	2,557,163
		当期正味財産増減額	61,659
		前期繰越正味財産額	1,219,091
		次期繰越正味財産額	1,280,750

監査報告書

2018年5月31日

NPO法人　AfriMedico
代表理事　町井　恵理　様

監事　蒲地　正幸

私は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、特定非営利活動法人であるAfriMedicoの2015年度（2015年4月1日から2016年3月31日まで）の事業報告書及び計算書類（財産目録、貸借対照表及び収支計算書）について監査を行った。

私は、理事の業務執行の状況に関する監査に当たっては、理事会に出席し必要と認める場合には質問を行った。また、経営の状況及び財産の状況に関する監査に当たっては、証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行った。

監査の結果、法人の業務は法令、登記予定の定款及び2015年度の活動方針、事業計画に基づき適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められた。

よって、私は、上記の事業報告書及び計算書類が、特定非営利活動法人であるAfriMedicoの2016年3月31日をもって終了する事業年度の業務執行の状況、経営の状況及び同日現在の財政状態を適正に表示しているものと認める。

以上

お知らせ

AfriMedicoは組織の理念に賛同し、活動を支援してくださる方を随時募集しています。

参加の方法

①寄付をする

AfriMedicoは任意の額のご寄附を随時受け付けています。ご寄付は下記の口座にお振込みいただくか、下記URLよりクレジットカードで決済ください。

銀行名： ゆうちょ銀行　　店番号： 028 （ゼロニハチ）
口座番号： 3432492　　口座名： アフリメディコ
URL　：http://afrimedico.org/donation/

②会員になる

AfriMedicoは私たちの理念・活動内容にご賛同いただける個人・企業の方々を広く募集しています。定期的な活動状況の報告、シンポジウ ム・講演会・イベントなどの優待、アフリカへのスタディツアーの優待など会員特典が多数あります。

■ 正会員（個人） 入会金5千円 年会費1万円
■ 正会員（団体） 入会金1万円 年会費1口5万円
■ 寄付会員　年会費1口1万円

③ボランティアとして活動する

AfriMedicoの理念に賛同し、ともに活動してくれる方を募集しています。ボランティアとしての活動に興味のある方は、afrimedico@ gmail.comまでご連絡ください。

ボランティアの声

「東京に10年住んでいましたが、こんなに桜がきれいな道があるなんて知らなかった！」「趣味のランニングでアフリカの医療に貢献できるなんて、考えたことがありませんでした。」チャリティランイベントに参加して頂いたランナーの方から毎回嬉しいコメントを頂きます。

私はAfriMedicoで企業連携チームに所属しながら、株式会社Runtrip（ラントリップ）と共催で実施しているチャリティランイベントの運営メンバーとしても活動しています。これはRuntrip代表の大森さんがおススメする隠れた絶景スポットを15km程度走り、その参加費をタンザニアに送る薬箱代に充てるという企画です。走って楽しい道との出会い、元箱根ランナーによるランニングアドバイス、そして参加者同士の交流が楽しい、という理由でイベントは毎回大好評です。

AfriMedicoにとっても、これまでアフリカや医療に接点のなかった方に活動を知ってもらう良い機会になっています。私はランニングという自分が好きなことを通じてAfriMedicoに関わっています。必ずしも専門的なバックグラウンドやスキルを持っていなくても、貢献できることがあると思います。ぜひあなたの好きなこと×AfriMedicoの発展につながるアイデアを、提案してみてください！

松尾恵太郎

「世界の恵まれない地域の人々の健康と、日本の製薬業界の発展に貢献したい」　私は、そういう想いを持って製薬企業で働いています。そんな私が出会ったのがAfriMedico。同じ想いを持って、実際に行動に移している方々がいることに感銘を受けました。

ただ、活動に参加するまでには迷いもありました。仕事もあり、大学院にも通学しているため、AfriMedicoのために時間が割けるだろうか不安だったからです。それでも思い切ってドアを叩いて、今は本当に良かったと思っています。

AfriMedicoでは、主に私たちの活動に賛同いただける企業との連携を担当しています。とはいえ、AfriMedicoはまだまだ小さな組織。一人が自主的に進めていかないと組織が回っていきません。企業との連携以外にも、組織運営や情報管理など幅広い業務を行うことで、視野も広がり、主体的に行動できるようになってきたと感じています。

これ以外にも、仕事とは違うフィールドで自分の志に向かって活動できているやりがい、そして何より、強い想いを持った魅力的なメンバーに出会えたこと。これらは全て、迷いながらも一歩踏み出し、AfriMedicoに参画したからこそ得られたものだと感じています。

杉浦　一輝

NPO法人 AfriMedico

E-mail : afrimedico@gmail.com
Web site : http://afrimedico.org
Facebook:www.facebook.com/afrimedico
発行:2016年6月